



2024年度 第1四半期 決算説明

証券コード：6908

2024年8月2日

IRISO 電子工業株式会社
IRISO ELECTRONICS CO.,LTD.

私たちは、社会やお客様の期待を超える「つなげる」を実現します
Together, surpassing expectations by empowering connections
to enrich society and delight people.

1. 2024年度1Q 業績のポイント

- 新ERPシステム切り替えに備えた一部顧客の安全在庫確保による前期4Qへの売上前倒しの反動減に加え、EV販売の伸長率鈍化等の影響により車載市場伸長減速、またコンシューマー・インダストリアル市場の低迷継続もあり、売上高**125**億円、前年比**+0.3%**
- 売上の伸び悩み、為替影響、原材料価格高騰、新ERP立上げトラブル等により、営業利益は**1.9**億円、前年比**-80.3%**
- 新ERPの円滑な運用への移行を早急に実施し、悪化要因に対し現状推進中の固定費削減、売上積増し、価格政策等の改善施策の実現度を踏まえ、2Q決算時を目途に通期見通しの見直しを予定

単位：百万円

	2023年度 1Q	2024年度 1Q	前年比
売上高	12,496	12,534	+38 +0.3%
営業利益	967	190	△776 △80.3%
営業利益率	7.7%	1.5%	△6.2pts

2. 2024年度1Q 連結決算の概要

単位：百万円

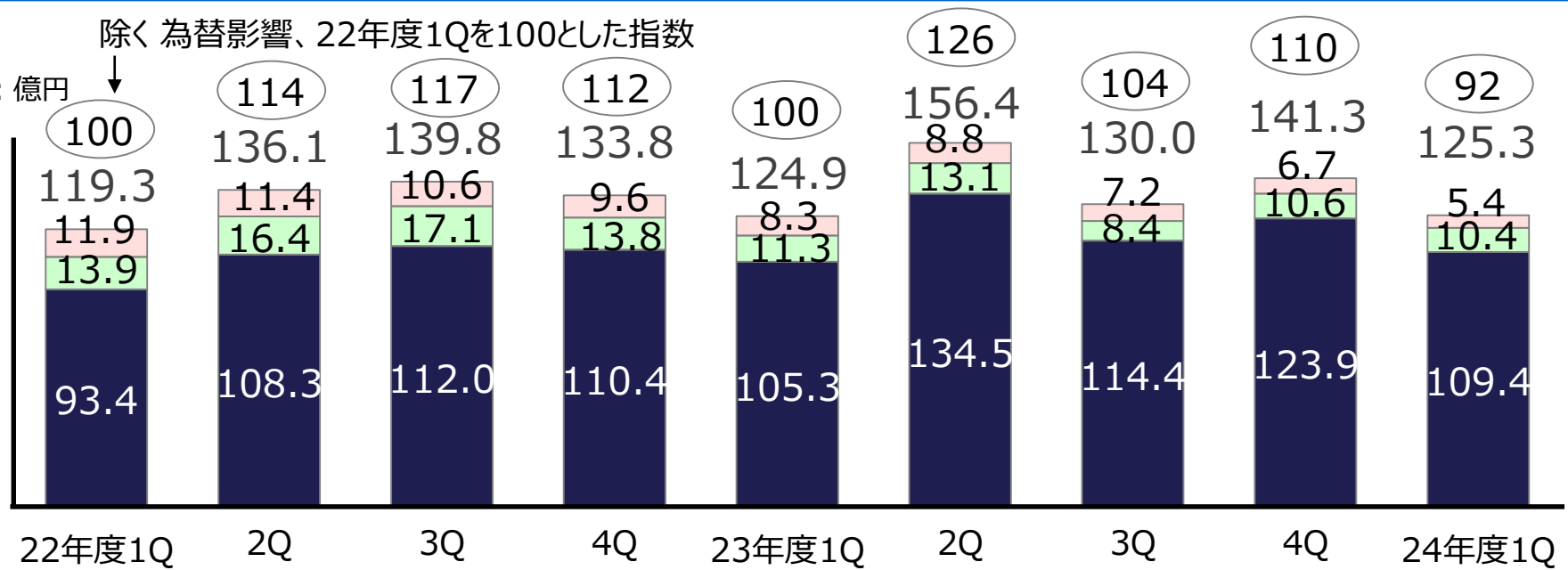
	23年度 1Q	24年度 1Q	増減額	増減率
売上高	12,496	12,534	+38	+0.3%
モビリティ	10,534	10,944	+410	+3.9%
コンシューマー	1,130	1,042	△88	△7.8%
インダストリアル	831	547	△284	△34.2%
売上原価	8,646	9,259	+612	+7.1%
売上原価率	69.2%	73.9%		+4.7pts
販売管理費	2,882	3,084	+202	+7.0%
販売管理費率	23.1%	24.6%		+1.5pts
営業利益	967	190	△776	△80.3%
営業利益率	7.7%	1.5%		△6.2pts
税引前利益	1,622	646	△975	△60.1%
四半期純利益	1,251	371	△879	△70.3%
EPS	53.19円	15.83円		
設備投資	2,501	2,280	△221	△8.8%
減価償却	1,550	1,781	+231	+14.9%
為替レート	ドル：138.11円	156.53円	+18.42円	+13.3%
ユ-ロ	150.35円	168.37円	+18.02円	+12.0%
期中平均	元：19.61円	21.53円	+1.92円	+9.8%

3. 四半期別売上高・営業利益推移

除く 為替影響、22年度1Qを100とした指数

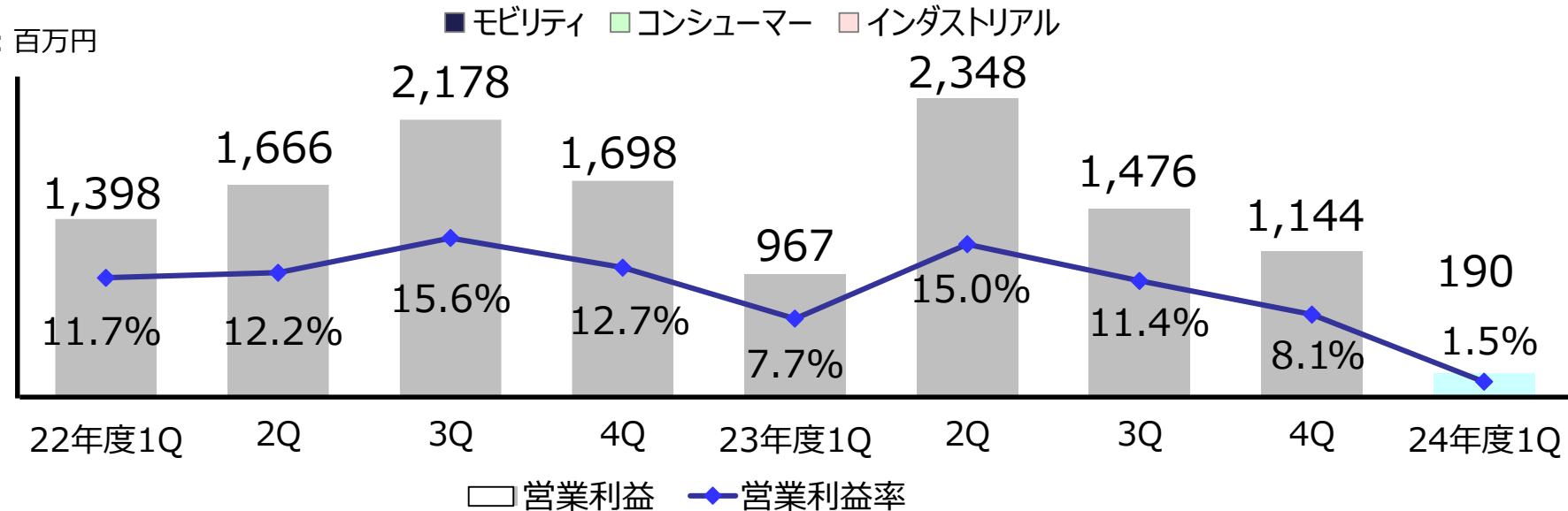
単位：億円

売上高



単位：百万円

営業利益



4. 地域別・製品別売上高

■ 地域別

単位：百万円

	23年度 1Q		24年度 1Q		前年比
	売上高	構成比	売上高	構成比	
日本	2,325	18.6%	1,810	14.4%	△515
中華・韓国圏	4,312	34.5%	5,105	40.7%	+792
アメリカ	1,718	13.8%	1,598	12.8%	△120
欧州	2,373	19.0%	2,305	18.4%	△68
ASEAN	1,765	14.1%	1,714	13.7%	△50
合計	12,496	100.0%	12,534	100.0%	+38
海外比率		81.4%		85.6%	

■ 製品別

単位：百万円

	23年度 1Q		24年度 1Q		前年比
	売上高	構成比	売上高	構成比	
BtoB	5,588	44.7%	5,333	42.6%	△255
FPC	2,644	21.2%	2,649	21.1%	+5
車載IF	3,305	26.4%	3,630	29.0%	+325
ピンヘッダー	635	5.1%	553	4.4%	△81
その他	323	2.6%	367	2.9%	+44
合計	12,496	100.0%	12,534	100.0%	+38

日本

- ・コンシューマー、インダストリアル市場の調整局面継続

中華・韓国圏

- ・前期1Q車載パワートレイン分野の顧客在庫調整解消により、前年比は18%増

アメリカ・欧州・ASEAN

- ・自動車市場の減速により、減少

BtoB

- ・自動車市場の減速影響
- ・高速伝送対応新製品は堅調に増加

車載IF

- ・パワートレイン分野向けで増加

5. 対前年同期比 売上・営業利益変動

単位：百万円

	売上高	営業利益	営業利益率	要因
23年度1Q 実績	12,496	967	7.7%	
一時費用減		+370		23年1Q新ERP立上げ経費、債権放棄他
為替影響	+1,100	△200		USD: 138.11円→156.53円、113.3% EUR: 150.35円→168.37円、112.0% CNY: 19.61円→21.53円、109.8% →営業利益率△1.9%押し下げ
物量減	△1,062	△500		23年度4Q顧客安全在庫前倒し影響他
材料費増		△160		金、銅等素材高騰影響
固定費増		△140		人件費、新ERP償却費等
新ERP立上げロス		△140		
新製品立上げロス		△110		高速伝送コネクタ等需要増に対する生産キャパオーバー他
その他		+104		収益構造改善による原価低減、売価ダウン他
変動要因計	+38	△776		
24年度1Q 実績	12,534	190	1.5%	

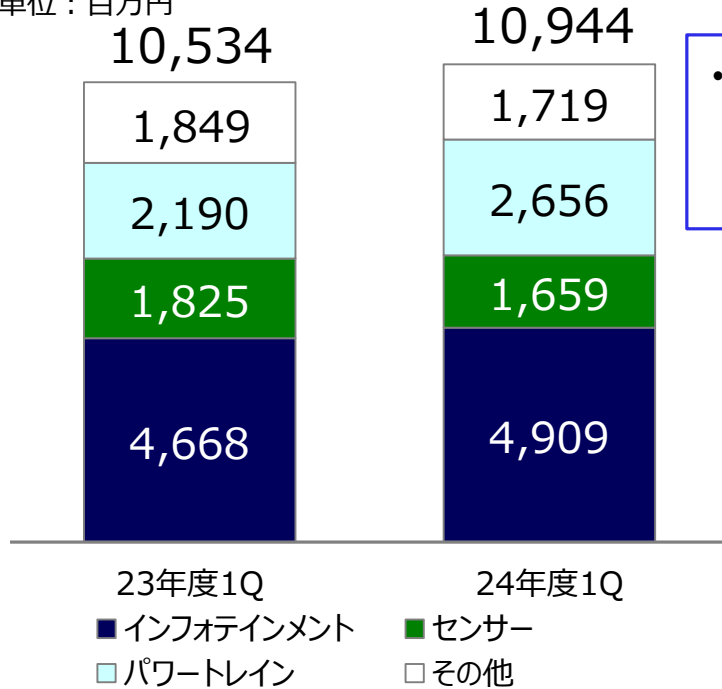
6. 連結貸借対照表の状況

単位：百万円

	23年度	24年度 1Q	前年末比
流動資産	56,093	60,523	+4,429
現金及び預金	26,692	31,295	+4,602
売掛債権	15,010	14,396	△614
棚卸資産	12,616	12,809	+192
固定資産	40,762	42,621	+1,859
資産合計	96,856	103,145	+6,288
負債合計	19,839	25,458	+5,619
買掛債務	5,466	4,728	△737
借入金	6,825	12,654	+5,828
純資産合計	77,016	77,686	+669
株主資本計	62,498	59,782	△2,716
自己資本比率	78.7%	74.5%	△4.2pts

■ 前年比+410百万円 (+3.9%)

単位：百万円



・欧州や中国での自動車生産の減速に加え、前期4QでのERP切り替えに備えた安全在庫分納入の反動減により、為替影響を除くと前年1Q比、4Q比共に減少

インフォテインメント

- ・前年比:1Q+5%、4Q-13%
- ・液晶パネルやECU向けの高速度伝送対応可動BtoBコネクタは堅調

センサー

- ・前年比:1Q-9%、4Q-11%
- ・搭載車種の台数減と、一部顧客で機器の構造変化により減少

パワートレイン

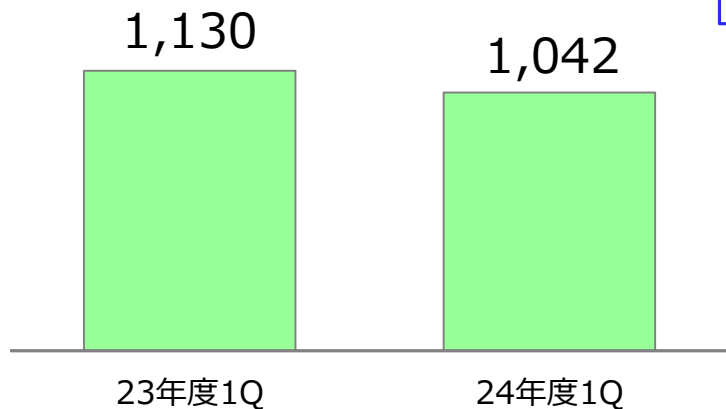
- ・前年比:1Q+21%、4Q-11%
- ・前期3Qからの中国顧客での調整や欧米でのEV販売不振の影響が継続
- ・下期以降から回復の見込み

	23年度				24年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
インフォテインメント	4,668	5,606	4,797	5,635	4,909
センサー	1,825	2,069	1,753	1,862	1,659
パワートレイン	2,190	3,674	3,091	2,983	2,656
その他	1,849	2,101	1,800	1,911	1,719
合計	10,534	13,452	11,442	12,393	10,944

8. 市場別売上 コンシューマー・インダストリアル

■ コンシューマー市場：前年比△88百万円 (△7.8%)

単位：百万円

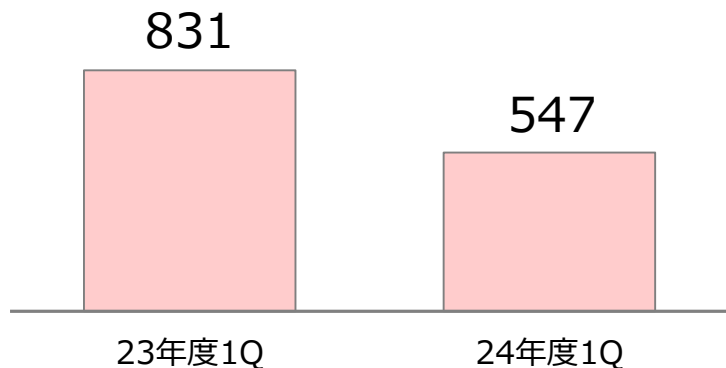


・ゲーム機の需要減により減収

23年度				24年度
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
1,130	1,307	835	1,065	1,042

■ インダストリアル市場：前年比△284百万円 (△34.2%)

単位：百万円



・FA関連機器向けの販売不振の継続

23年度				24年度
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
831	884	722	671	547

会社名	イリソ電子工業株式会社
事業内容	各種コネクタの製造・販売
設立年月	1966年12月
社員数	3,037名(2024年3月31日現在)
資本金	5,640百万円(2024年3月31日現在)
本社	神奈川県横浜市港北区新横浜2-13-8
営業拠点	
国内	本社、福島県、茨城県、愛知県、大阪府
海外	シンガポール、香港、アメリカ、ドイツ、タイ、韓国 中国(上海、大連、天津、蘇州、深圳、重慶)、台湾、インド
研究開発	本社(イリソテクノロジーパーク)、 川崎(生産技術センター)、岩手県(花巻工場)、上海R&Dセンター
工場	茨城県、中国(上海、南通)、フィリピン(マニラ)、 ベトナム(ハイズオン)

コネクタの種類

基板対基板コネクタ (BtoBコネクタ)

プリント基板の接続用に開発されたコネクタの総称でボード・ツー・ボードコネクタ(ボードtoボードコネクタ)とも呼ばれる。垂直接続、平行(スタッキング)接続、水平接続など組み合わせで、さまざまな接続が可能となる。B to B (ビー・ツー・ビー)は、当社の登録商標として市場で広く浸透している。

FPC/FFCコネクタ

FPC基板(Flexible printed circuits)やFFCケーブル(Flexible flat cable)の接続用に開発されたコネクタの総称。コネクタの挿入時に力を加えずにロック可能なZIF(Zero insertion Force)タイプ、挿入したときに力が発生するNON-ZIFタイプがある。

IFコネクタ

IFとは、インターフェイスの略で、機器間の信号の接続を行うコネクタのことで、I/O(インプット/アウトプット)コネクタとも呼ばれる。カーナビ、PCなどさまざまな機器の側面(裏・表面)に装着され、機器への電源供給、音声・映像信号データなどの入出力を行う。

ピンヘッダー

線材をカット加工した“ピン(電導体)”をハウジング(樹脂材でできた絶縁体)で支えたプラグ(オス側)コネクタの基本形であり、さまざまな分野・機器の内部接続(基板間接続)に使用されている。横から見ると、生け花の花止め“けんざん”のように見えるのが特長。メス側はソケットと呼ばれる。

この資料に記載されております業績の予想数値につきましては、本資料の発表日現在で得られた入手可能な資料に基づいて作成したものであり、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通しのみに依拠してご判断されることはお控え下さるようお願いいたします。

なお、本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

私たちは、社会やお客様の期待を超える「つなげる」を実現します
Together, surpassing expectations by empowering connections
to enrich society and delight people.